

知ろうとすれば、世界は変わる

市原市立千種中学校 三年 鈴木 茉那香

「忘れられた歴史は繰り返す」

この夏、私の心に、深く刻まれた言葉です。

皆さんにとって、「当たり前生活」とは、どのような生活ですか。私にとっての、「当たり前生活」は、家族と共にご飯が食べられること、学校に行って勉強できること、友達と自由に過ごせることです。しかし、私が当たり前だと思っていた生活は、必ずしも当たり前ではないのだとこの夏、気が付かされました。

「忘れられた歴史は繰り返す」という言葉は、広島の被爆者の方の言葉です。私は市原市の平和大使として広島に行き、直接この言葉を聞いて、衝撃を受けました。

今の核兵器は、広島の前爆と比べて何倍もの威力があると聞きました。核兵器が使われたら人類が滅亡してしまうかもしれない。実際に核兵器が使われるようなことになったらどうしよう。他人事のように思っていた核兵器への認識が、自分自身の生活や社会と結びつき、急に恐ろしさが増しました。

私の周りで、前爆がいつ、どの時間に投下されたか正確に答えられる人は決して多くはありませんでした。私もこの経験をするまで前爆について知らないことがほとんどで、深く考えたこともありませんでした。被爆者の方の言葉にあるように、段々と、人々の記憶から核兵器の恐ろしさが忘れられようとしているのではないかと考えてぞっとしました。

一瞬で命を奪われるような、恐ろしい歴史を繰り返してはいけません。前爆投下から時間が経ち、被爆者の方も少なくなっている今、私たちができることは忘れないことと、知ることです。悲惨な過去を繰り返さないために、苦しい思いをする人々がいなくなるように、知って伝えていく、知ろうとする、これが大切だと思います。

今、私たちが送っている平和な生活は、誰もが、「当たり前だ」と思って油断していると、危機感がなくなり、あっという間に崩れてしまうのだと思います。

知らないことを知ろうとすることで、世界が広がるということ、改めて

実感しました。多くのことを知り、いろいろな情報を結びつけることで、深く物事を考えることができます。さらに、複数の広い視野を持って考えることができるようにもなります。

これは、調べ学習でも実感したことがあります。私は、世界の文化の違いを調べ、環境や食べ物の違いに驚き、私の全く知らない決まり事があることを学びました。世界の見方が変わり、ニュースを見ていても、深く理解できるようになりました。

平和大使の活動を通して、戦争の悲惨さ、怖さをひしひしと感じました。そして、改めて命の尊さについて考える機会となりました。この世界には、一つとして、失われてもいい命はなく、平等に扱われるべきだと思います。

私の将来の夢は看護師です。今までは漠然とした憧れでしたが、困っている人の手助けをしたいという気持ちがより強くなりました。すべての命に対して、平等に手を差し伸べられる存在になりたいです。そして、いつかは身近な人だけでなく、世界のどこかで苦しんでいる人々の力にもなりたいと思います。

平和について考え、視野が広がったことで、将来の夢についても知りたいこと、やってみたいことが増えました。

私にはまだまだ知らないことがあります。しかし、平和大使で学んだ「知ろうとする力」を心に留め、私の世界を広げていきたいと思います。